



2019年2月27日

各位

興和株式会社

緑内障・高眼圧症治療剤「K-115」の 韓国における輸入薬許可取得のお知らせ

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 三輪 芳弘、以下「興和」）は、日本で販売している緑内障・高眼圧症治療剤「グラナテック®点眼液 0.4%」（開発コード：K-115、一般名：リパスジル塩酸塩水和物）につきまして、2019年2月21日付で、韓国において開放隅角緑内障・高眼圧症を適応症として輸入薬許可の承認を取得しましたのでお知らせいたします。

日本では既に世界初の Rho キナーゼ阻害作用を有する緑内障治療薬として、2014年12月より販売を開始し、また同時に海外展開を視野に韓国や他の地域でも開発を続けてまいりました。韓国では、韓国子会社「Kowa Korea Company, Ltd.」（本社：韓国ソウル市）を通じて、MFDS（食品医薬品安全処）に輸入薬許可申請を行い、承認に至りました。

興和は、2019年4月1日を効力発生日として、興和新薬株式会社（本社：愛知県名古屋市）および興和創薬株式会社（本社：東京都中央区）を吸収合併し、医薬事業の製販を統合する予定で、医療用医薬品等の更なるグローバル対応を強化していきます。このたびのグラナテックの韓国での承認はその一つとして展開してまいります。

■K-115（日本国内製品名：グラナテック点眼液 0.4%）について

「グラナテック点眼液 0.4%」は、Rho キナーゼを阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

日本国内で実施した原発開放隅角緑内障および高眼圧症の患者さんを対象とした臨床試験において、「グラナテック点眼液 0.4%」は、単独での使用および既存の緑内障・高眼圧症治療薬と併用での使用のいずれの場合でも、眼圧下降効果を示すことが確認されています。

以上

 興和株式会社	広報部（東京）	東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL：03-3279-7392
	本店（名古屋）	名古屋市中区錦 3-6-29